

# 事業継続計画BCP（概要） 和光会グループ本部

はじめに

災害時においても地域医療・福祉の総合施設として期待にこたえていく必要があり、業務を継続しサービスを提供していく事が使命である。

## 事業継続計画の目的

大規模地震等が発生し、職員や施設設備、ライフラインに被害が及び機能低下した状況にあっても、中断できない業務や中断しても早期の復旧を必要とする業務を適切に実施するために、必要な資源や対策を事前に定め災害発生時の業務継続に万全を期すことを目的とする。

## 事業継続の基本方針

大規模災害時には以下の方針に基づき業務を実施する。	
①	利用者の生命・生活を維持するために、通常実施しているサービスの中でも、生命・生活に直結する業務を中心に継続し、その他の業務は縮小、休止とする。
②	基本的には、入所・短期入所・通所・訪問の全部門ともに対応とする。但し、施設の被害状況や利用者の状況によっては、通所、訪問部門の縮小又は休止も検討するが、認知症高齢者やひとり暮らし高齢者など、介護サービスがなければ生活が維持できない利用者についてはサービスを継続する。
③	法人内の事業所間で連携して非常時優先業務に必要な人員、食料、資機材等の確保、配分にあたる。
④	行政との協定に基づき避難行動要支援者の受入れに対応する。また、地域の災害福祉拠点として近隣及び地域社会への支援活動を行う。

## 災害のリスク

### 地震災害

想定地震（震源モデル）		岐阜市			北方町	本巣市
		寺田	東金宝町	加納	柱本	三橋
南海トラフ巨大地震M9.0	震度	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱
	液状化	30.8	3.6	9.5	30.5	2.9
養老一桑名一四日市断層帯地震M7.7	震度	6強	6弱	6弱	6強	6弱
	液状化	15.9	—	5.4	16.4	0.2

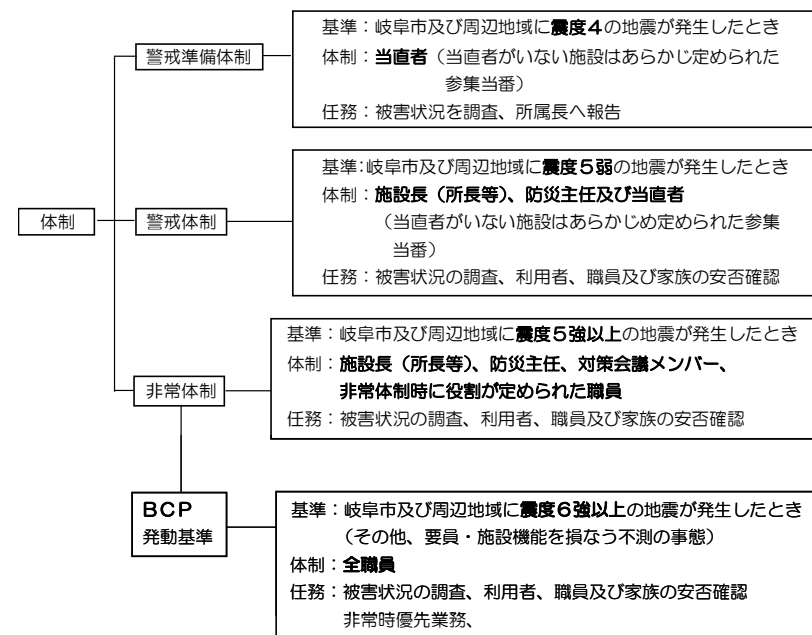
液状化危険度：PL>15 極めて高い 5<PL<15 高い

### 豪雨災害（長良川・伊自良川その他中小河川が決壊溢水した場合を想定）

地区	想定浸水深
岐阜市寺田7丁目	2m～5m未満（現実的リスクは3m程度：岐阜市防災対策課）
岐阜市愛宕町	0.5m未満
本巣郡北方町柱本	0.5m～3m未満

## BCP発動基準

平日の通常勤務（B勤務）以外の時間帯における非常参集者は、次の表のとおりとし、BCPの発動は、岐阜市及び周辺地域（北方町、本巣市）において震度6強以上の地震が発生した場合（その他、職員・施設機能を損なう不測の事態）とする。



## 再開・復旧に関する基本方針（次の基本方針に沿って行動する。）

区分	内容
入所利用者	生命の維持に必要な食事、介護、看護に関するサービスの提供を継続する。
在宅利用者	ひとり暮らし高齢者を優先して安否確認を行い、必要に応じて安全な場所を確保する。
ライフライン	既存の設備、災害用備蓄を最大限に活用して、ライフラインの確保に努め、早急な復旧活動を行う。
施設・設備	施設内の損壊状況を把握し、応急対応及び復旧活動を行う。
衛生管理	衛生環境の低下を防ぎ、介護ができる環境の整備を行う。